

ねらい

幼児の表情や言葉、動きなどから幼児の思いや願いを捉え、幼児理解を深めることができる。

参加者全員が話し合うことで、自分の保育を見直す視点に気付くことができる。

具体的なすすめかた

(1) 研修会についての説明

今月の担当グループが説明します。年間研修計画に沿って、企画・運営を行います。

(2) ビデオ視聴

幼児の表情や言葉、動きと保育者のかかわりに注目して視聴する。



ビデオに映し出された保育者のかかわりを批判的に見るのではないことを確認します。

(3) 個人で付箋紙に記入

映像にある保育場面について、「自分はどう見たのか」「何を感じたのか」を付箋紙に書く。

「自分ならどうかかわるか」を付箋紙に書く。

1枚の付箋紙に1つのことを、横書きで、読みやすい大きな字で書く。



KJ法活用

(4) グループ協議

1枚ずつ付箋紙を出し合い、模造紙上に意見を分類・整理しながら貼る。

よく似た内容の付箋紙があれば、その近くに貼る。

内容のまとまりを考えて線で囲み、見出しをつける。



(5) グループ発表

各グループの代表者が、各5分以内で発表する。

発表者は、質問にも答えていきます。



(6) まとめ

研修会で明らかになった課題を、学年会でもう一度振り返る。

学年主任を中心に、方向性を共通理解する。

・実際の保育場面を撮影し、その映像を通して話し合いを行うこともできます。

・複数のビデオで、全体の動きと個の動きを撮影するなど工夫してみましょう。

